

# スポ進だより

2013.8.25 No.37

■発行所/ひたちなか市スポーツ推進委員会  
■編集/広報部  
■事務局/ひたちなか市教育委員会事務局  
スポーツ振興課  
■電話/029(273)0111 内線 342

ホームページ/<http://hitachinaka-taishi.jp/>



イースタンリーグ公式戦の様子



なでしこリーグカップ

## 市民球場の 災害復旧工事了

平成23年3月11日に多くの地域に甚大な被害をもたらした東日本大震災。

その震災から、2年が経ち多くの地域で復旧・復興が進んでいるところですが、この度ひたちなか市の中で

も長い期間使用できなかった市民球場が、平成25年の4月1日を以って2年ぶりに復旧しました。

この復旧を受けて、平成25年6月16日にはプロ野球「イースタンリーグ公式戦」読売ジャイアンツ対千葉ロッテ「テマリーンズ」の試合が市民球場で行われ、多くの市民に夢と感動を与えてくれました。

また、7月には第95回全国高等学校野球選手権茨城大会が開催されました。高校球児の熱い試合がひたちなか市で再び見られるようになり、元高校球児の私も楽しみが増えました。

市民球場の復旧は、市民の皆様を楽しませるだけでなく、様々なイベントを経て、スポーツ選手のプレー向上や子ども達のスポーツへの関心を高め、未来のスポーツ選手の育成へ繋がっていくものです。

(寺門 記)

# 就任あいさつ



小池 英夫  
スポーツ推進  
委員会委員長

この度の任期満了に伴い、新任のスポーツ推進委員が委嘱されるとともに、私も委員長として再任されました。新たな委員とともに 2 年間の委員会活動がスタートしたわけですが、今後委員長という大任を果たすべく、決意を新たにいたしております。

また、今回発行の第 37 号より、紙面が四面から八面に増え、ひたちなか市のすべてのご家庭にこの「スポーツだより」が全戸回覧されるようになりました。これを機にスポーツ推進委員の活動を広くアピールするとともに、活動の幅や質の向上を図っていきたくと考えております。そのためにも、スポーツを通じた近隣の人々とのふれあいや健康づくりなどを、私たちが率先して行い、より身近な存在として活動していく所存であります。私たちスポーツ推進委員は、各地区から推薦を受けた 50 名から成

り立っており、一人ひとりが地域の生涯スポーツ振興・発展という重責を担っています。そのためには何よりも各委員の一致団結が重要となります。全員の志をひとつにして、各員の資質の向上にも努めていかなければなりません。

さて、近年スポーツに対する認識は時々刻々と変わっております。さらに昨今は少子高齢化が進み、特に後期高齢者の健康寿命の延伸が叫ばれております。そんな中、様々な世代の健康をサポートするためには、生涯スポーツの存在がますます不可欠なることでしょう。

最後になりましたが、より一層地域の生涯スポーツ活動を広めていくためにも、各地域に住む方々のご理解・ご協力をお願い申し上げます。私の就任挨拶とさせていただきます。



大和田 征宏  
教育委員会事務局  
スポーツ振興課長

本年 4 月に、本市スポーツ行政のさらなる充実を目的に新設されたスポーツ振興課の課長に就任い

たしました。どうぞよろしくお願いいたします。

スポーツ推進委員の皆様には、日頃より本市のスポーツ振興はもとより市政全般にわたり多大なるご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。

この度、7 名の新任の方々を含む 50 名の皆様をひたちなか市スポーツ推進委員として委嘱させていただきました。新任の皆様には、これまでのスポーツ経験や実績を活かし、本市のスポーツ振興の一翼を担っていただくとともに、お住いの地域において、各スポーツ団体間や行政との連絡調整を通じて、地域におけるスポーツ・コワーキング・ネットワーキングとしての役割を期待しております。

また、引き続き委嘱させていただきますました皆様には、全国より 2 万人近い参加者を集める勝田全国マラソン大会や、歴史ある三浜駅駅競走大会の運営をはじめ、地域におけるスポーツ活動の実践者として、大会やスポーツイベントの企画運営など本市の生涯スポーツの普及にご尽力いただいております。ことに、深く感謝申し上げます。

本市といたしましても、「誰もが

元気に暮らすことのできるまち」を目指して、「スポーツ・レクリエーションに親しむ環境づくりをはじめ、スポーツ競技力の向上などに鋭意取り組んでまいる所存でございます。今後とも、スポーツ推進委員の皆様とともに、各種事業の推進を図ってまいります。

最後になりましたが、スポーツ推進委員の皆様の方々の益々の活躍とご健勝を祈念申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

## 生涯学習課から スポーツ振興課へ

この度、スポーツ、健康づくりに対する市民の参加意識の高まり、生涯学習に対する市民ニーズの多様化に対応するため、平成 25 年度組織・機構改編により「生涯学習課」から「スポーツ振興課」を分離新設することとなりました。

(事務局)

平成 25 年度事業計画

スポーツ推進委員会	那珂湊学区(湊・阿・平)	一中地区	二中学区	三中学区	佐野中地区	大島中学区	田彦中学区
総会	総会 平) 明るい地域づくりの会	総会 ソフトボール大会	総会	4 月 総会	ソフトボール大会	総会	
県総会 水戸地区総会		理事研修会		5 月 ヘルスバレーボール大会		役員顔合わせ会 ヘルスバレーボール大会	
関東研究大会 全体研修	阿) 町民グラウンドゴルフ大会 平) 三世代交流スポーツ大会	三世代交流 レクリエーション大会	バレーボール大会 高齢者レクリエーション大会 ソフトボール大会	6 月 ソフトボール大会	高齢者レクリエーション	ゆうゆうエージ スポーツレクリエーション大会	高齢者レクリエーション
	湊) ヘルスバレーボール大会 阿) 町民ゴルフ大会 平) 平中学区ゴルフ大会	ファミリーバドミントン大会		7 月 親子水泳教室	コミュニケーション	体育部会交流会	
	湊) 盆踊り 平) プロスポーツ観戦			8 月		お父さんソフトボール大会	ヘルスバレーボール大会
水戸地区実技研修会				9 月		研修視察	グラウンドゴルフ大会
	湊) 秋季大運動会 阿) 町民運動会 阿) 町民ヘルスバレーボール大会 平) 平中学区市民運動会	秋季大運動会 ヘルスバレーボール大会	秋季大運動会	10 月 秋季大運動会	市民秋季大運動会	市民秋季運動会	秋季大運動会
全国研究協議会 水戸地区女性研修交流会	湊) グラウンドゴルフ大会 阿) コミュニティ祭り 平) 中学区ゴルフ	コミュニティまつり	コミュニティまつり 体育部会理事研修	11 月 ふるさとまつり	佐野公民館文化祭	大島ふれあいフェスタ グラウンドゴルフ大会	コミュニティまつり ファミリーバドミントン大会
三浜駅伝競走大会 市ヘルスバレーボール大会			卓球・ピンポン・ ラージボール大会	12 月			
勝田全国マラソン大会				1 月			
	平) ウォークラリー大会		インディアカ大会	2 月 新春レクリエーション大会	研修視察 体育部会交流会		部会研修
県女性委員研修会	阿) 町民ゴルフ大会 平) 広報誌おさい発行	ゴルフ大会		3 月			
	阿) 体協会議	理事会、常任理事会、 検討委員会、専門部会		未定			



# スポーツ推進委員紹介

## 全中学区総勢50名 新たに7人の仲間が入りました！



### ● 二中学区 ●



和地 石田 工藤 佐川 海老沢



黒沢(正)

今期、交代がありました。  
地域住民との絆を深め、身近に参加できる生涯スポーツ振興を目指し、スポ進一丸となって頑張ります。

(黒沢(正) 記)

### ● 一中地区 ●



坂本(禮) 川又 小松崎 堀江 笹嶋 杉寄 根本(隆)

私たちスポーツ推進委員は、各スポーツに対する審判やルール の在り方を事前に把握し、それを地域スポーツ指導員に伝授し、地域の方々が気兼ねなく参加できるよう全体で取り組んでいきます。

(小松崎 記)

### ● 阿字ヶ浦中学区 ●



小池(元) 黒澤(美) 小池(英)

スポーツ・レクリエーションに気軽に参加していただき生涯を通して健康づくりを皆様と一緒に目指していきます。

(黒澤(美) 記)

### ● 三中学区 ●



榊 熊川 鈴木 浦山



黒沢(雄)

本メンバーで、2期目がスタートしました。スポーツ推進委員として、各種実技研修及び講習会で学んだことを元に生涯スポーツの拡充を図り、老若男女が自由に楽しく参加できるような事業を計画・推進してまいります。

(熊川 記)

● 佐野中地区 ●



益子 山崎 小石川 児玉



小林(順)

地域の皆様がスポーツを通して、笑顔で楽しめるよう、その手助けが出来るよう取り組んでいきたいと思ひます。(山崎 記)

● 大島中学区 ●



和田 辻井 阿部 宇津野 武澤

大島中学区は爽やかな仲間が加わりました。地域の皆さんと楽しく交流し、明るく元気に頑張ります。(辻井 記)

● 平磯中地区 ●



根本(伸) 長谷川 薄井



大塚

地域の方々と交流を図りながら、スポーツ推進を委員全員で頑張ります。(薄井 記)

● 田彦中学区 ●



勝村 坂本(洋) 山岡 久保田 大内(四)

地域住民の皆様との絆を大切に、楽しめるスポーツ・レクリエーションを企画し、一年を通しての健康づくりを目指して活動してまいります。(山岡 記)

● 那珂湊中学区 ●



寺門 吉村 根本(吉) 黒澤(順) 御幡 大内(豊)  
横須賀 徳武 永盛



関根

私達スポーツ推進委員は、新しい仲間を迎え、地域の皆さんが1人でも多く、スポーツを楽しめるように、総合型クラブの運営に積極的に関わり、その担い手として自主的に活動していきます。(大内(豊) 記)



### 関東スポーツ推進委員 研究協議会

平成 25 年 6 月 7 日・8 日の 2 日間、神奈川県横浜市・神奈川県民ホールにおいて関東スポーツ推進委員研究大会が「スポーツの力で地域を元気に」をテーマとする「支える」みんなでスポーツ！を大会テーマに関東甲信地方 1 都 8 県から約千七百名のスポーツ推進委員が集い開催され、当市からも 4 名が参加しました。午後 1 時から開会式が始まり、引き続き功労者 88 名の表彰式が行われました。その後、アトラクションとして横浜市消防音楽隊による演奏とステージドリルに続き、相模国飯山白龍太鼓保存会による創作和太鼓の演奏が披露されました。

そして、メインイベントは「20 年かけて銅から銀へ」アテネオリンピック銀メダリストからのメッセージと題し、アーチエリー競技において、日本を代表する選手として長年にわたり活躍、最初の銅メダルから 20 年を経て、アテネオリンピックで 41 歳にして

銀メダルを獲得し注目を浴びた、日本体育大学准教授山本博氏（通称、「山本先生」「中年の星」）による基調講演でした。自分の感性に終わりはないと信じて、ひたむきにあらめずに努力することが成果につながることを身を以って示しつつ、さらに上を目指すことを宣言し、「アーチエリーと教師の仕事が僕を進化させ続けること、教職という本業を軸にしながら競技生活を貫いています。特に高校教師生活の中で、実にさまざまな子どもたちと向き合ってきたことすべてが糧になった。子どもたちが興味あるものを見つけてくるきっかけの場であり、その興味とどう向き合ったらいいのか、その基本を勉強やスポーツを通して最初に学ぶ場である点がおもしろい。自分たちで一生懸命一つのものに向

かっていく、そのプロセスの楽しみ方を学生に教えたいと思っています。メダル獲得も確かにつれしいが、それ以上にそこにいたるまでの道のりを振り返り、報われたと思うことが本物の喜びです。だからこそ、道のりの楽しさを子どもたちにこれからも伝え続けたい」

この内容で、学生・子どもたちを地域の人たちに読み替えれば、私たちスポーツ推進委員の活動を考える上で大変参考になりました。

（坂本（洋） 記）

### 茨城県スポーツ推進委員協議会 功労者表彰を受賞して

平成 25 年 5 月 16 日茨城県土浦市の国民宿舎「水郷」において県スポーツ推進委員協議会総会が開催され、その席上でスポーツ推進委員功労者表彰があり県内から 54 名、市内より私を含めて 4 名の方が表彰されました。

これもひとえにひたちなか市スポーツ推進委員はもとより市スポーツ振興課の皆様、地域学区の皆様、関係各位のご協力とご支援があったからこそ、ここまで継続しての活動がたがったものと深く感謝を致しております。

振り返ってみますと地域活動は地区自治会体育委員からスタートして地域スポーツ指導員、スポーツ推進委員としての 20 年間の活動でした。勝田全国マラソン及び三浜駅伝競走大会などのボランティア

活動となりますが、市スポーツ振興課の皆様のご指導により、市内全域にわたり各学区のスポーツ推進委員の皆様方と交流を図っております。

昨年はスポーツ推進委員の研修をかねて群馬県太田市のスポーツ推進委員との交流を図れ、充実した活動ができました。

近年、市内各地区においてヘルスバレーボール競技が活発に展開され、市内大会が開催されるなど年々盛り上がりつつ来ております。

これからも市民の皆様へのスポーツの普及と定着を図るため、地域の皆様方と一緒に活動を進めていきたいと思っております。

（鈴木 記）



### 二中学区

**6/9** 高齢者レクリエーション大会が枝川小学校体育館で開催されました。

高齢者クラブ参加者は230名で、種目はカードでデート・輪投げ・ペットボトル釣り・室内ゲート・ピンポンパン・ボール送りリレーの6種類です。

その中で輪投げ大会では、選手と自治会ともに白熱したゲームが繰り広げられました。

津田第三寿会のとて可愛いわばあちゃん石川ゆきさん(90)に

最高齢として特別賞が贈られました。

来年もお

元気で参加していただきたいと願いつつ、半日かけた大会も無事終了しました。

(黒沢(正) 記)



### 第37回春季球技大会

**5/6** 昨年度に続き、春季球技大会(ヘルスバレーボール)

が10チームの参加を得て盛大に開催されました。大会は、予選リーグと順位決定リーグを実施し、昨年度に続き『足埴団地(Aチーム)』が2連覇を達成しました。

**6/9** ソフトボール大会が開催され、今年も、農作業の閑

係から参加チームが10チームに減少ししましたが、恒例のユニークなリーグ設定で、強豪ブロックとし

### 三中学区

クリエーションブロックに分けて大会を実施しました。結果は、ソフトボール大会では初めての、「同点」選手9人によるジャンケン」で優勝が決定いたしました。

・強豪ブロック優勝・足埴25分団

・レクリエーションブロック優勝・弥生ハニワーズ

(熊川 記)



### 地区レポート

### 佐野中地区

**6/2** 梅雨空の中『佐野の輪を推進する会』の体育部会による高齢者レクリエーション大会が高野小学校の体育館において開催されました。

毎年行われますこの大会には各地域より、朝早くから約100名の高齢者の参加があり、ユニークなボールの輪投げ&ディスクゲッター・ユニカール・オーバルボール・ヒットターゲットの4種目を取り入れて、28チームの参加でそれぞれの種目に分かれて、熱戦が繰り広げら

れました。

試合では得意の輪投げに挑戦された方が最高得点の45点を取ったり、頑張っても一つも入らなかつたり、また初めての種目に出られ一生懸命に取り組む姿も見られました。驚きや感動そして喜びの声が聞こえた素晴らしい大会でした。私達、体育部会ではこれからも高齢者の方々に楽しんでいただけるよう、新しいゲームなどを取り入れながら「次回こそは頑張るぞ」と闘志を燃やしながら帰られた方々の為にも地域スポーツ指導員の方々と頑張つて行きたいと思えます。

(小石川 記)

**7/12** 水戸グリーンカントリークラブ(山方コース)にて町民ゴルフ大会が

18名(女性1名)の参加のもと開催されました。大会当日は、あまり暑くもなく絶好のゴルフ日和でした。

次回(来年)の3月予定です。気軽に楽しく多くの方が参加出来るような大会にして行きたいと思

### 阿字ヶ浦中学区



この日のために練習をして成果がでた人、ぶっつけ本番で楽しいゴルフの人と、さまざまではありましたが楽しい1日を過ごすことが出来ました。

さて、気になる結果ですが

- 優勝：黒沢 克良 さん
- 準優勝：川崎 米男 さん
- 3位：川崎 昇三 さん

次回は来年の3月予定です。気軽に楽しく多くの方が参加出来るような大会にして行きたいと思

(黒澤(美) 記)

# スポーツ推進委員会 全体研修

平成25年6月30日に、スポーツ推進委員会全体研修が、松戸体育館において実施されました。今回の全体研修のテーマは、7月7日に体育協会主催で開催される、第一回市民ヘルスバレーボール大会の審判を依頼されているため、審判の資質向上と、本年から新規委嘱された7名のスポーツ推進委員との交流を図ることです。

当日の全体研修参加者は、50名（スポ進43名、事務局7名）でした。研修は、参加者を6グループに分け、コート2面を使用してヘルスバレーボールの試合を実戦形式で行なうものでした。

ルールは頭で覚えても、スピーディな試合展開の中で、瞬時的に確なジャッジが出来なければ、試合進行に支障を来たす可能性があります。審判の資質を格段に向上させるという意味において、実戦形式で経験を重ねることは、非常に有効な手段と言えます。

各人は、主審、副審、線審と求められる技量に応じた内容に即し、個々の弱点の克服と課題を持って、真剣に取り組んでいました。

さすがにスポ進の研修は甘くは無く、実技は2時間にも及び、さらに当日は高温多湿で、全員汗びっしょりとなりながらも研修は無事終了しました。

ヘルスバレーボールは、やっと市民の間に普及し始めたばかりですが、いづれはゲーム参加者のレベルも上がり、高度な試合内容となる筈です。当然審判にも、高度なレベルが要求されるのは明白です。スポ進としても更なる資質向上を図り、今後は大会全体をコントロール出来る、マネジメント力の向上を身に付けることが求められると思います。

今回の全体研修は、スポ進としても継続的に研鑽に努めなければと感じた意義ある全体研修会となりました。

(海老沢 記)

## 第二回 市民ヘルスバレーボール大会

平成25年7月7日(日)松戸体育館においてひたちなか市体育協会主催、市民ヘルスバレーボール大会実行委員会主管による第一回市民ヘルスバレーボール大会が開催されました。

梅雨明け直後の猛暑にもかかわらず、28チーム総勢400名にも及び参加者によって熱戦が繰り広げられました。

予選は4チームずつ7ブロックに分かれてリーグ戦を行い、その後順位トーナメント等1チーム6試合を消化し、少しハードであったかなと思われましたが皆さん十分に楽しめたとのことでした。

各チームの技量も上達してきており、以前のような大差での勝敗が少ない、熱の入った試合展開が多く見られたのも今回の特徴でした。

また、子ども達が熱心に応援してくれ、閉会式にも参列したため家族ぐるみでの温かさを感じることもでき、大変すばらしい大会でした。

### 入賞チーム

- 優勝** みなとWaikwaikwaクラブ(湊)
- 準優勝** フリーダム(前渡)
- 3位** K☆SボンバースA(佐野)  
足崎☆カポチャンズA(前渡)

(徳武 記)

### 編集後記

ひたちなか市民球場が復旧し、震災にて被害を受けた市内各スポーツ施設は、ほとんど利用可能となりました。市内には、いまだ震災の爪跡が残っているところもありますが、スポーツを通じて市民が元気で明るい日常を過ごせるよう復旧にスポットをあて表紙にしました。また、今号より新しいメンバー構成での作成となりましたが、これまでの編集方法の良い点を活かし、効率良く作成ができました。これからも、市民の皆さまの健康づくりの一助となる記事を発信していきたいと思えます。

(坂本(洋) 記)

### 広報部員紹介(中学区)

- ◎坂本(洋)(田彦中) 宇津野(大島中)
- 川 又(一中) 辻井(大島中)
- 小松崎(一中) 山岡(田彦中)
- 根本(隆)(一中) 徳武(那珂湊中)
- 海老沢(二中) 根本(吉)(那珂湊中)
- 黒沢(正)(二中) 大内(豊)(那珂湊中)
- 浦山(三中) 寺門(那珂湊中)
- 熊川(三中) 薄井(平磯中)
- 小石川(佐野中) 黒澤(美)(阿字ヶ浦中)
- 山崎(佐野中)

◎部会長 ○副部会長